



挑 戦

発行責任者：美作市立勝田中学校
校長 西川 裕

学校教育目標：夢を拓き、確かな学びと豊かな心、たくましく生き抜く力を育む

コミュニティ・スクールへ

勝田中学校では、現在、来年度4月から実施予定のコミュニティ・スクールという取組に向けて準備をしています。『コミュニティ・スクールとは何？』といった疑問が浮かぶかもしれません。簡単に説明すると『地域とともにある学校』です。つまり、地域と学校が手を取り合うような学校づくりをしませんか？ということです。学校や生徒を支援して下さる活動や団体は、今までにも色々あります。例えば、PTA（ParentTeacherAssociation：保護者と教職員との団体）では、児童や生徒の支援をしていく任意団体でした。運動会の前に教職員と保護者の方が協力して校内の草刈をしてくれたり、夏祭りの補導、朝の挨拶運動等をしてきています。これにはいくつか課題があります。生徒自身は会員ではないこと。子どもが学校から卒業すると団体からも自動的に脱退してしまう。地域住人として卒業後も学校の子供達を支援したくても難しくなります。また別の団体として地域学校協働事業というものがあります。活動例では、地域でボランティア登録をしてくださっている方が学校に来て、プール掃除やグラウンド整備、授業の手伝い、登下校の見守り活動をしてきています。これについては、学校からの要請を受けてご協力やお手伝いをしていただいています。（もっとこうしたらといった地域の方の意見で動いているわけではありません。）他にも様々な団体が学校を支えてくれています。これからの時代は、コミュニティ・スクールとして、それぞれの団体がバラバラに活動するのではなく、つながり、意見を交換しながら、みんなでつくる学校にしていかななくてはなりません。また、生徒も支えられているだけではいけません。何年か先を見越して、地域のために貢献できることをしていく、お互いがWIN-WIN（ウインウイン：双方に良い関係）に、つながることができるようにしていかななくてはなりません。学校・PTA・地域の人たちが期待し目指す中学生像は、来年度発足予定の学校運営協議会（コミュニティ・スクールを実際に動かしていく会の名称：それぞれの団体の代表者の方に集まってもらう会議）で共有する。対等な立場で意見を熟議（しっかりと話し合うこと）して、みんなでつくる学校にしていく。生徒は、十数年後に親になった時にも地域に育ててもらった恩を忘れない。地域の学校としてこれからも共にあり続けるものでなければいけません。

本年度は、地域のお祭りであるあんこう祭りも開催されます。中学校の生徒会が学校で行っているリサイクルの取組をステージで発表し、テントでは映像やポスターの掲示を行います。学校の今までしてきた取組を発表させてもらう（開かれた学校づくりの）場だと思っています。そして、学校だけでなく地域の方にもリサイクル活動にご協力いただくことでつながり、コミュニティ・スクールへと舵を切っていく第一歩にしたいと考えています。

お知らせ コミュニティ・スクールについての研修会（説明会）を計画しています。先日ご案内させていただきました。よろしければ、ご参加ください。

日時 令和5年7月26日（水）19：00～20：20 場所 美作市かつた市民センター

内容『地域と学校の連携・協働のあり方～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～』

講師 津山教育事務所 指導主事 野呂 直子 先生

6月の行事 - 授業から

6/6 **全校集会**

挨拶マスター 挨拶を頑張った人の表彰



6/9 **音楽鑑賞会**

岡フィル（指揮者体験）演奏



6/13 **1年関谷研修**

講堂学習（論語体験）

オリエンテーリング



6/23 **クリーン作戦**

2小学校と合同で清掃活動



6/28 **人権講演会**

勝田小からオンライン配信



6/22 **期末テスト**

どの学年も真剣に頑張っています！



美作総体

最後まであきらめない勝田魂を発揮！

5月の美勝英総体に引き続き、6月30日（金）～7月1日（土）に美作地区中学校総合体育大会が行われました。少し小雨がパラつく中、各所で熱戦を繰り広げました。新型コロナウイルス感染症防止のために無観客で行われていた昨年ははるか昔のように、今回はご家族の方にも見学・応援にご参加いただけました。3年生にとっては、県大会や中国・全国につながる中学最後の大会でした。健闘はしましたが、県大会には、つながらなかった個人やチームもあります。しかし、もてる力を出し尽くしたやりきったという顔が印象的でした。総体の結果についてお知らせします。

卓球部男子団体 予選リーグ2位通過

決勝トーナメント進出

個人 4回戦 惜敗

女子団体 予選リーグ1位通過

決勝トーナメント進出4位入賞

（県大会出場）

個人 4回戦 惜敗

柔道部 団体 5位（県大会出場）

個人 ベスト8 柏木智輝 森元麟太郎

優勝 坂元颯太

剣道部男子個人 初戦惜敗

女子団体 初戦惜敗

個人 2回戦惜敗

